

「大学院生物資源環境科学府修了生の 満足度アンケート」の分析結果報告書

九州大学大学院生物資源環境科学府学務委員会

平成 29 年 12 月

1. アンケートの概要

大学院生物資源環境科学府学務委員会では、平成 19 年度より毎年度、生物資源環境科学府博士前期（修士）課程修了生を対象に、在学時の満足度について無記名のアンケートを行っている。本報告書は、平成 23 年度から平成 28 年度における 6 年間のアンケート結果について、分析を行ったものである。

アンケートに当たっては、次頁に掲載したアンケート票を使用した。アンケート票に示されているとおり、質問項目は「教育カリキュラム」、「教員について」、「学習・研究環境、進学・就職支援」及び「総合判定」に大きく分類され、修了生が大学に対して感じた満足度を、様々な視点から分析できるように構成されている。

アンケート結果を教育コースごとに集計したものが、次節の図である。図を参照するに当たっては、図の棒グラフ中の数値が、アンケートの各質問項目に対する修了生の回答率を表すことに留意されたい。なお、図の上には、平成 23 年度から平成 28 年度における、学府全体または各教育コースの修了者数とアンケート回収率を表記している。

各教育コースにおけるアンケート結果の分析は、学府全体の結果と比較する形で行った。具体的には、質問項目ごとに、回答番号 3（おおむね有意義であった・おおむね満足・やや当てはまる）及び回答番号 4（大変有意義であった・満足・当てはまる）と回答した修了者の割合について、各教育コースと学府全体の差（＝各教育コースの数値－学府全体の数値）を求め、その差を次のように表記した。

+10 ポイント以上 : 極めて高い

+5～+10 ポイント : 高い

-5～+5 ポイント : 同程度

-10～-5 ポイント : 低い

-10 ポイント以下 : 特に低い

※ただし、同程度の範囲内で高低を言う場合は、僅かに高い、僅かに低いとする。

つまり、各教育コースにおける満足度が、学府全体と比較してどの程度高かったのか（低かったのか）を、統一的な評価基準をもって分析した。また、分析結果から明らかになった学府全体及び各教育コースにおける今後の課題についても、合わせて記述した。

図 満足度アンケート票

学生(院)の満足度アンケート(解答はすべて1~4の番号でお答え下さい)

所属する教育コースの番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|---------------|----------------|
| 1. 農業生物資源学 | 2. 動物・海洋生物資源学 | 3. 森林環境科学 |
| 4. 生産環境科学 | 5. 農業環境科学 | 6. サステイナブル資源科学 |
| 7. 農業資源経済学 | 8. 生物機能分子化学 | 9. システム生物学 |
| 10. 分子微生物学・バイオマス資源化学 | 11. 食料化学工学 | |
| 12. 旧専攻 (| 専攻) | |

1. 教育カリキュラム

- A. 学府での授業はどの程度有意義だったと思いますか？
4. 大変有意義であった 3. おおむね有意義であった 2. あまり有意義でなかった
1. 有意義でなかった
- B. 準備された学府教育の授業科目数や種類にどの程度満足できましたか？
4. 満足 3. おおむね満足 2. やや不満 1. 不満
- C. 学府での研究はどの程度有意義だったと思いますか？
4. 大変有意義であった 3. おおむね有意義であった 2. あまり有意義でなかった
1. 有意義でなかった

2. 教員について 下記に挙げた項目はあなたが受けた教育にどの程度あてはまりますか？

- (4. 当てはまる 3. やや当てはまる 2. あまり当てはまらない 1. あてはまらない)
- A. 勉学・研究の動機づけをしてくれる教員に出会った (4 3 2 1)
- B. 研究テーマや方向性に対して十分な助言・討論をしてくれる教員に出会った
(4 3 2 1)
- C. 情熱をもって研究の指導・支援をしてくれる教員に出会った (4 3 2 1)
- D. 良好な人間関係を築ける教員に出会った (4 3 2 1)

3. 学習・研究環境、進学・就職支援 下記の項目についてどの程度満足していますか？

- (4. 満足 3. おおむね満足 2. やや不満 1. 不満)
- A. 所属する研究室の雰囲気 (4 3 2 1)
- B. 専攻のカリキュラムなどについてのオリエンテーション (4 3 2 1)
- C. 研究室・キャンパスにおける学習・研究施設・設備 (4 3 2 1)
- D. 進学や就職に対する大学側の支援 (4 3 2 1)

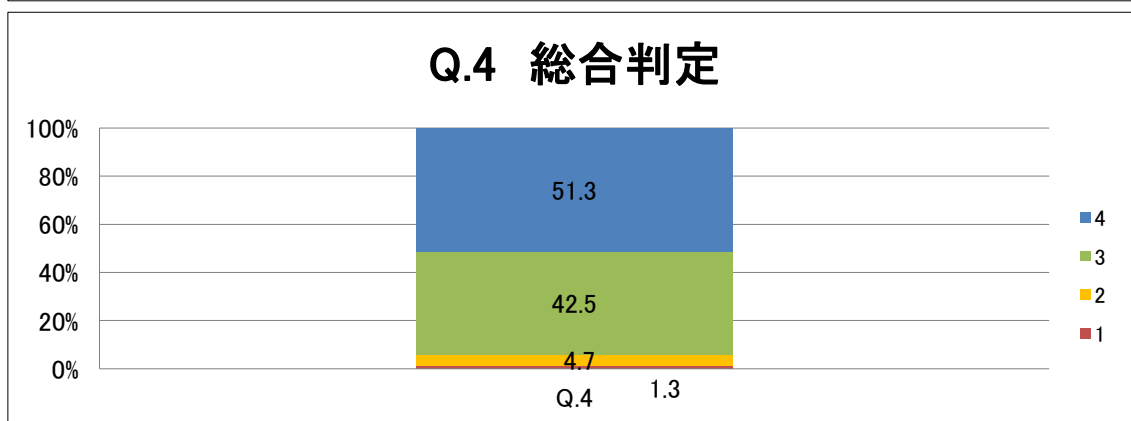
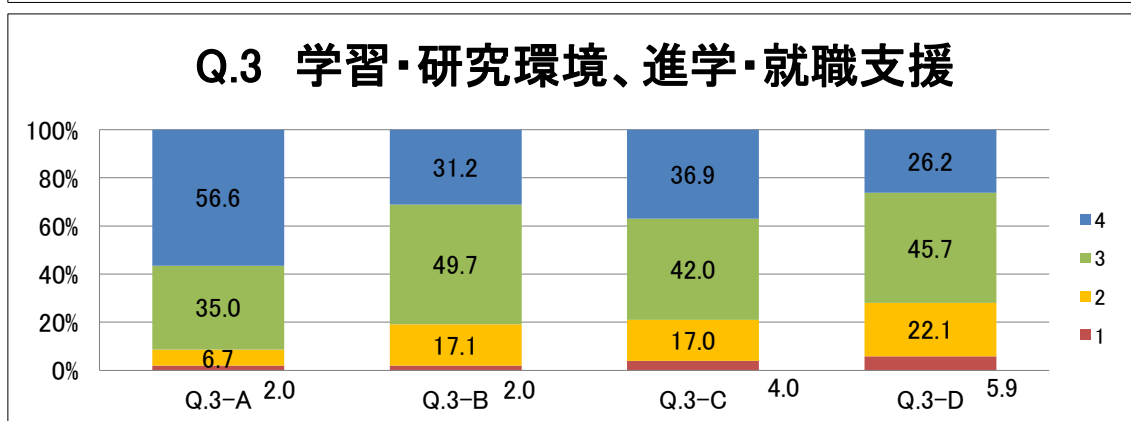
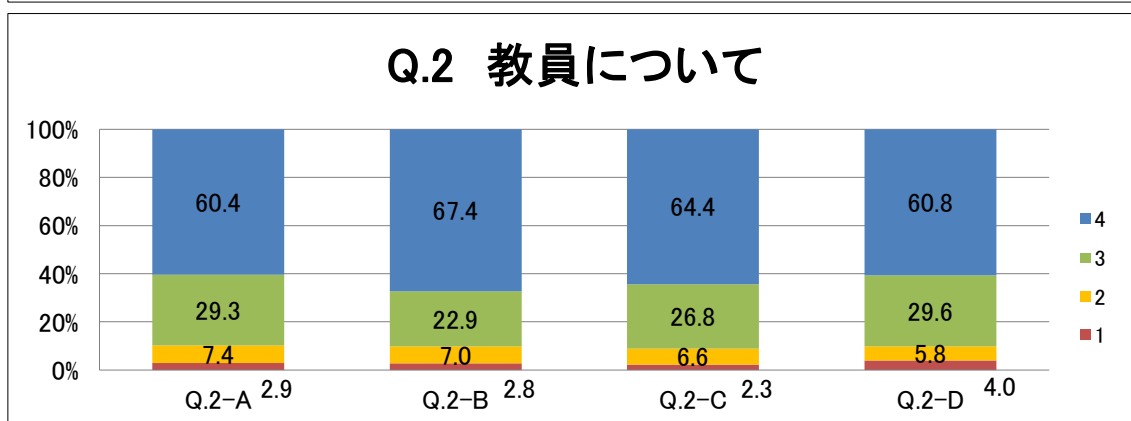
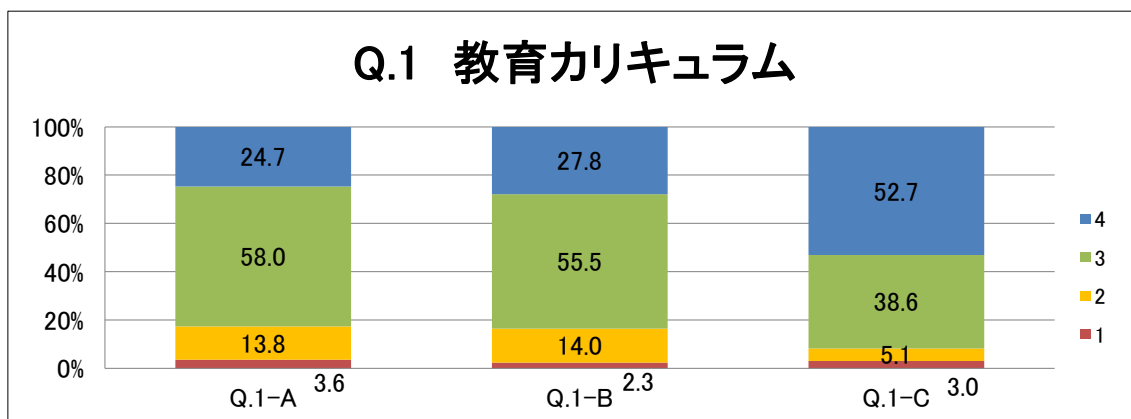
4. 総合判定

総合的に判断して、あなたはこの学府を選択して満足していますか・

4. 満足 3. おおむね満足 2. やや不満 1. 不満

自由筆記欄

生物資源学環境科学府の結果 (回収率 80.1%, 修了者数 1085 人)



【分析結果】

学府全体では、総合判定で94%の学生が満足している。5年前の前回調査の62%から大幅に満足度が上がった。80%以上の学生がほとんどのアンケート項目で満足しており、80%未満の満足度は「研究施設・設備」(79%)、「進学や就職の支援」(72%)であった。

アンケート回収率も前回調査の51%から80%へ大幅に上がったことから、生物資源環境科学府への満足度は大幅に改善されたと言える。

【今後の課題】

アンケート回収率が大きく上昇した上で、総合判定における満足学生の比率が大きく向上したとはいえ、「研究施設・整備」および「進学や就職の支援」での満足後は相対的に低かった。前者については、伊都地区への移転にともなってハード面におけるある程度の改善も見込まれるが、実験機器等については移転によって自動的に更新や最新化されるわけでないので、学府としての努力が必要である。また後者については、教員および関連事務職員組織の主体的努力で、進路選択に資する情報や求職情報の提供、マッチング活動、相談活動などの検討・取組の必要もあろう。